

海上自衛隊仕様書			
物品番号等		仕様書番号	MHS-V-07009-14
名称	UH-60J PAR 共通仕様書	防衛大臣承認年月日	
		作成年月日	9. 10. 28
		改正年月日	23. 5. 17
		単位	機
		補給本部航空機部航空機整備課	

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、海上自衛隊のUH-60JのPARについて適用する。

1.2 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) 規格

MIL-PRF-16173 CORROSION PREVENTIVE COMPOUND, SOLVENT CUTBACK, COLD-APPLICATION

MIL-I-85062 INHIBITOR, CORROSION, VOLATILE, TRANSMISSION AND GEARBOX

MIL-PRF-81733 SEALING AND COATING COMPOUND, CORROSION INHIBITIVE

b) 仕様書

MHS-V-46008 航空機定期修理共通仕様書

M2S-V-30021 航空機等業者負担部品等共通仕様書

c) 法令等

航空機等整備基準（海幕装備第5622号。10.12.8）

d) 技術文書等

航空油圧取扱説明書（10類1T第219号。50.8.20）

UH-60J型航空機 フライト・ハンドブック（10類1T第2401号。3.11.20）

UH-60J型航空機 整備取扱説明書（10類1T第2402号。3.11.20）

UH-60J型航空機 構造修理取扱説明書（10類1T第2403号。3.11.20）

UH-60J型航空機 点検・検査項目表（10類1T第2406号。3.11.20）

SH/UH-60J型航空機用バッテリー取扱説明書（10類3第0063号。8.3.25）

2 実施要領

実施要領は、次によるほか、MHS-V-46008 による。

- a) 機体関係作業実施要領 附属書 A
- b) 電子機器関係作業実施要領 附属書 B
- c) 経年対策作業実施要領 附属書 C

3 標準作業期間

標準作業時間は、6 か月間とする。

4 提出書類等

提出書類等は、MHS-V-46008 による。ただし、航空機等修理記録（H票）及び改修実施記録（K票）は、表 1 による。

なお、H票は電子媒体で提出するものとする。

表 1 ー航空機等修理記録及び改修実施記録

名 称	提 出 時 期	提出先及び部数
航空機等修理記録（H票）	航空機受渡し後 30 日以内	補 給 本 部
改修実施記録（K票）		各 1 部

5 貸付品

貸付品は、附属書 D による。

6 技術役務

技術役務の提供は、MHS-V-46008 の 5.1 による。

7 その他

7.1 燃料の搭載、抜取り

J P-4 の搭載、抜取りの手続先は、航空自衛隊小牧基地とし、J P-5 については、海上自衛隊阪神基地隊とする。

なお、J P-4 の引渡し場所は、航空自衛隊小牧基地とし、J P-5 は、契約の相手方の工場とする。

7.2 器機及び部品等の流用

交換を必要とするエンジン、メジャー・コンポーネント、部品などの入手時期が作業工程に間に合わないと予想される場合には、監督官の確認を得て他の航空機から相互流用することができる。

7.3 業者負担部品

業者負担部品は、M2S-V-30021による。

7.4 疑義事項

この仕様書に疑義が生じた場合、契約担当官等と協議するものとする。

附則

この仕様書は、23年度国債契約以降、適用する。

附属書 A
(規定)
機体関係作業実施要領

目 次

A.1	総則	6
A.2	搬入航空機の引渡し	6
A.3	航空機の手入れ	6
A.4	機体等の防せい	7
A.5	燃料等の抜取り	7
A.6	航空機の分解範囲	7
A.7	航空機の洗淨及び塗装のはく離	12
A.8	修理作業実施に関する一般事項	12
A.9	各部の作業	13
A.10	組立	24
A.11	組立後の作動試験	24
A.12	航空機の仕上げ	26
A.13	飛行試験等	27
A.14	空輸準備等	27
付表A.1	UH-60J PAR機能部品作業標準	28
付表A.2	UH-60J PAR非破壊検査	30
付表A.3	UH-60J PAR標準修理範囲	34
付表A.4	UH-60J PAR修理を要しない事項	48
付表A.5	UH-60J PAR交換部品	54

A.1 総則

この附属書は、UH-60JのPAR作業のうち、機体関係作業の実施要領を定めるものである。

なお、この要領における実施基準は、原則として10類1T第2402号及び10類1T第2403号によるものとする。ただし、これによりがたいB段階整備以上の実施基準は、修理会社技術資料等による。

A.2 搬入航空機の引渡し

A.2.1 搬入前部隊実施作業

航空機搬入に先立ち、次の作業は、部隊が実施する。

- a) この仕様書で適用されない軽微な不具合の修復
- b) 次回点検までの残時間が30時間以内のペリオディック・インスペクション
- c) 定期修理搬入時、10類1T第2401号付録2に基づく試験等の実施及びその結果の記載

A.2.2 持込制限

修理工場へ持込まないものは、次のものとする。

- a) 担架及び担架取付装置
- b) 機体付属品（ピトー・カバー、エンジン・プラグ等日常使用するものを除く。）
- c) カーゴ・フック

A.3 航空機の入入れ

A.3.1 インベントリを行う。

A.3.2 航空機の来歴簿を点検し、機器の使用時間の調査を行う。

A.3.3 定期修理搬入時、部隊確認結果を参照して、次の試験を行う。

- a) エンジン操作系統
- b) エンジン始動
- c) エンジン停止
- d) エンジン・ヒストリ・レコーダ確認
- e) 緩速運転
- f) APU始動
- g) APU停止
- h) APU通常運転
- i) 操縦装置
- j) パイロット・アシスト・サーボ・シリンダ（スティック・ジャンプ、ペダル・レート、コレク

タイプ・オープン・ループ及びフィードバック・リンケージの作動試験)

k) ブレード防水装置

A.3.4 作動油圧系統に油圧をかけ、各構成品、配管に漏れがないか検査を行う。

A.3.5 改修指示書の実施区分がB段階以上のものについては、実施状況を確認する。ただし、単体機器についてのもの、点検のため分解を要するもの及び適用全号機実施確認済のものは除く。

A.3.6 レスキュー・ホイスト、カーゴ・フック、エンジン消火コンテナ、非常フロート、ETSエジェクタ・ラック、飛行データ記録器のデトネータ及びSMDCカートリッジを取外し保管する。

A.3.7 航空機の受入れ後、14日ごとにタイヤの接地面の変更を行う。

A.4 機体等の防せい

A.4.1 エンジンの防せいは、10類1T第2402号1.1によって実施する。

A.4.2 各ギア・ボックスは、地上運転を行い潤滑油を排除し、水分・異物のないことを確認した後、MIL-I-85062を混合した潤滑油をギア・ボックス内部に補給する。

なお、飛行試験前に防せい解除を行う。ただし、返納する場合は、10類1T第2402号1.1の保存、輸送準備による。

A.4.3 燃料セルの防せいは、10類1T第2402号1.5によって実施する。

A.5 燃料等の抜取り

燃料、潤滑油、作動油等を機体から抜取る。ただし、エア・サイクル・マシンの潤滑油は、特に不具合がない限り抜取らない。

A.6 航空機の分解範囲

航空機から取外す主なものは、次のとおりとする。

A.6.1 エアフレーム

- a) 必要な点検ドア、パネル、フェアリング等
- b) ノーズ・ドア、コックピット・ドア及びカーゴ・ドア
- c) メイン・ローター・パイロン
- d) テール・ローター・パイロン
- e) スタビレータ
- f) 吸振装置
- g) キャビン・フロア・パネル

- h) バック・ミラー及びカーゴ・ミラー
- i) 機首下部窓
- j) 機外燃料タンク・サポート
- k) 救難員用バブル窓及びカーゴ・ドア投棄窓
- l) トランジション・アクセス・ドア
- m) エンジン・カウリング・フィッティング

A.6.2 胴体コンパートメント

- a) パイロット及びコパイロット用座席
- b) 乗員用座席
- c) シートウエル・カバー
- d) ポータブル消火器
- e) 非常フロート及びサポート
- f) 内張り
- g) 酸素ボンベ固定装置
- h) 貨物格納設備

A.6.3 ランディング・ギア系統

- a) メイン及びテール・ホイール・アセンブリ
- b) メイン及びテール・ランディング・ギア・ショック・ストラット
- c) ドラグ・ビーム
- d) ブレーキ・アセンブリ
- e) テール・ランディング・ギア・フォーク及びヨーク・アセンブリ
- f) ブレーキ・マスター・シリンダ
- g) 尾輪ロック・アクチュエータ，ロックピン，取付ブラケット及びアンロック・スイッチ
- h) ウェイト・センシング・アーム及びスイッチ

A.6.4 フライト・コントロール系統

- a) サイクリック・スティック，コレクティブ・スティック，ヨー・ペダル及びペダル・アジャスタ
- b) プーリ，ロッド，ベルクランク，レバー及びケーブル（ベルクランク・サポートは除く。）
- c) アーム，ウォーキング・ビーム，バランス・スプリング，スプリング・カプセル及びクォードラント
- d) ミキシング・ユニット
- e) コレクティブ・ブースト・サーボ，ヨー・ブースト・サーボ，プライマリ・サーボ，コレクテ

イブ・トリム・サーボ, ヨー・トリム・サーボ, ロール・アクチュエータ, ロール/ピッチ・トリム・アセンブリ及びテール・ローター・サーボ

f) ピッチ・ビーム・シャフト

A. 6.5 ローター系統

- a) メイン・ローター・ブレード
- b) テール・ローター・ブレード及び取付構成品
- c) ダンパー・アセンブリ
- d) スピンドル・アセンブリ

A. 6.6 パワー・プラント及び関連系統

- a) エンジン
- b) エンジン・コントロール・クォードラント
- c) ストラット・アセンブリ
- d) 空気圧マニホールド及びチューブ
- e) ロード・デマンド・システム・コントロール・ケーブル

A. 6.7 APU系統

- a) APU
- b) アキュームレータ
- c) APUエレクトロニクス・シーケンス・ユニット
- d) 前方内側マウント

A. 6.8 トランスミッション系統

- a) メイン・トランスミッション (ローター・ヘッド取付け状態)
- b) ラジエータ, ファン, ダクト及びシャフト・アセンブリ
- c) テール・ドライブ・シャフト・セクション I ~ III
- d) 中間ギア・ボックス, テール・ドライブ・シャフト・セクション IV 及びテール・ギア・ボックス

A. 6.9 空気調和系統 (a), b) 及び c) については, ECS 装備機に適用する。)

- a) キャビン ECS ダクト, 空気圧ブリード・エア・チューブ, キャビン温度コントロール・バルブ, 温度センサー, モジュレーティング・バルブ及びマフラー
- b) ウォータ・セパレータ
- c) エア・サイクル・マシン及び熱交換器
- d) エンジン・インレット及び着氷検出器
- e) ECS 制御器 (ECS 装備機に適用する。), ブレード除氷テスト・パネル及びブレード除氷制御

器 (センターコンソール部)

- f) メイン・ローター・ブレード除氷スリップリング及びメイン・ローター・ブレード・ディストリビュータ
- g) メイン・ローター・ブレード除氷ジャンクション・ボックス, 着氷速度計及びブレード除氷コントロール
- h) テール・ローター・スリップリング・ローター
- i) 後部トランジション室ファン, ダクト及びフロント・カーテン

A. 6.10 電気系統

- a) バッテリ
- b) ACジェネレータ
- c) APUジェネレータ
- d) ミセラニマス・スイッチ・パネル
- e) DCコンバータ
- f) ジェネレータ・コントロール・ユニット
- g) 引込み式着陸灯(偶数回PAR)
- h) 可動式サーチライト(偶数回PAR)
- i) 燃料ブースト・ポンプ・コントロール・パネル
- j) サーキット・ブレーカ・パネル

A. 6.11 作動油圧系統

- a) ポンプ・モジュール
- b) 作動油移送モジュール
- c) 移送モジュール・マニホールド
- d) パイロット・アシスト・モジュール及びパイロット・アシスト・モジュール・マニホールド
- e) バックアップ・ポンプ交流モーター
- f) 充填ハンド・ポンプ

A. 6.12 燃料系統

- a) 主燃料タンク (No. 1, No. 2) の燃料セル内構成品
- b) 機内補助燃料タンク及び機内補助燃料タンクの燃料セル内構成品
- c) 機外補助燃料タンク
- d) 燃料管制パッケージ
- e) メイン・ローター・パイロン内燃料ホース
- f) STA. 311 の左右舷ETS燃料ホース

g) 燃料管制パネル

A. 6.13 ユーティリティ系統

- a) エンジン消火器コンテナ
- b) ワイパー・アーム及びリンク
- c) レスキュー・ホイスト, ホイスト・ライト及びサポート
- d) レスキュー・ホイスト・コントロール・パネル
- e) エジェクタ・ラック
- f) BITコントロール・パネル
- g) フロート制御器

A. 6.14 計器系統

- a) 計器板
- b) 計器板グレアシールド
- c) シグナル・データ・コンバータ
- d) マスター警告パネル
- e) コーシオン/アドバイザリ・パネル
- f) TASコンピュータ・ユニット, TASトランスデューサ及び外気温度センサ
- g) 統合表示装置

A. 6.15 自動操縦システム

- a) スタビレータ・コントロール・アンプ
- b) スタビレータ・アクチュエータ及びポジション・センサ・ハウジング組立
- c) スタビレータ・コントロール・パネル
- d) スタビレータ・ポジション・インジケータ
- e) AFCSコンピュータ
- f) AFCSコントロール・パネル
- g) コレクティブ・スティック・ポジション・センサ
- h) ホバー・トリム・コントロール・パネル
- i) SASアンプ
- j) レート・ジャイロ
- k) 加速度計
- l) エア・スピード・トランスデューサ
- m) エア・データ・トランスデューサ
- n) パワー・スイッチング・ユニット

- o) CIU
- p) 姿勢方位基準装置
- q) ターン・レート・ジャイロ

A.6.16 電子系統

- a) 航法気象レーダ・レドーム
- b) HFアンテナ
- c) VOR/LOCアンテナ
- d) VHFアンテナ
- e) UHF/AM アンテナ
- f) IFF/SIFアンテナ
- g) ADFセンス・アンテナ
- h) TACANアンテナ
- i) グライド・スロープ・アンテナ
- j) マーカ・ビーコン・アンテナ
- k) ICS ALL/GROUPパネル
- l) EFISコース/ヘディング・マスター・スイッチ・パネル
- m) GPSアンテナ

A.7 航空機の洗浄及び塗装のはく離

航空機の洗浄及び塗装のはく離は、次による。

- a) 機体外面の塗装(防水シールを含む。)は、全面をはく離し、外板及びフィッティング類の腐食、損傷、リベットのゆるみなどの検査を行う。ただし、複合材部及び窓枠の塗装はく離は行わない(偶数回PAR)。
- b) 機体の油脂、塩分、排気などによる汚れを清浄にし、腐食を除去する(奇数回PAR)。
- c) 機体に塗布されているフルイド・フィルムNASを剥離し、腐食、損傷及びリベットのゆるみ等の検査を行う。フルイド・フィルムNASのはく離は10類1T第2402号1.2による。なお、はく離箇所は10類1T第2402号1.2に指示される塗布区域の中で、はく離可能な範囲とする。

A.8 修理作業実施に関する一般事項

A.8.1 機能部品作業標準

機能部品作業標準は、次による。

a) 付表 A.1 による。ただし、機能部品の作業種別、記号等は、MHP-V-46008 による。

なお、付表 A.1 に記載していない機能部品は TR とする。

b) 前 a) によって、取外す機器は、取外したときに外観状況の検査を行う。

A.8.2 非破壊検査

非破壊検査は、付表 A.2 による。

A.8.3 標準修理範囲

検査又は試験の結果発見された不具合は、付表 A.3 に示す範囲で修理等を行う。

A.8.4 修理を要しない事項

修理を要しない事項は、付表 A.4 のとおりとする。

A.8.5 給油・給脂

給油及び給脂は、この仕様書に示す分解等の範囲内において該当技術資料によって行う。

A.8.6 防食処理

防食処理は、フルイド・フィルムNASの塗布を10類1T第2402号1.2により実施する。

A.8.7 所要トルク

標準ボルト、ナットなどに適用する一般トルク値は、10類1T第2403号による。

A.8.8 交換部品

交換部品は、付表 A.5 による。

A.9 各部の作業

各部の作業は、次による。

A.9.1 エアフレーム

a) コックピット

- 1) 窓及び風防の検査を行う（操縦席前面風防ガラス以外は亀裂のある場合のみ交換する。）。
- 2) コックピット・ドアについてコックピット・ドア投棄窓を取外して検査を行う。
- 3) コックピット・ドアの作動及び調整が適正か検査を行う。
- 4) コックピット・ドア投棄窓の作動及びラッチと窓フレーム溝のかみ合が適正か検査を行う。
- 5) シートウエル・カバーは取外し保管のみ行う。
- 6) 外板、フレームなど構造物の検査を行う。

b) 胴体

- 1) ノーズ・ドアの検査を行う。
- 2) ノーズ・ドアのヒンジ及びロック部の検査を行う。
- 3) 航法気象レーダー・フェアリングの検査を行う。

- 4) フェアリング, 点検ドア, カバーなどの検査を行う。
 - 5) カーゴ・ドア本体, シール, ロック・リリース機構及びトラック機構の検査をプーリーを取外して行う。
なお, カーゴ・ドアは下部ローラを取外して検査を行う。
 - 6) カーゴ・ドアのがた, 円滑な動き, ロックとリリースの適正な作動について検査を行う。
 - 7) バブル窓及びカーゴ・ドア投棄窓について取外し状態で検査を行う (亀裂がある場合のみ交換する。)
 - 8) バブル窓周辺の内板の検査を行う (偶数回 P A R)。
 - 9) バブル窓及びカーゴ・ドア投棄窓の解放機構及びラッチ機構の作動は適正か検査を行う。
 - 10) ドリップ・パンの検査及びドリップ・パンのドレン穴の検査を行う。
 - 11) メイン・トラスミッション取付部ビーム (BL16.5) 及びフレーム (STA327.115 及び STA360.115) の検査を行う。
 - 12) シア・デッキ部 (STA326~361 の BL16.5) 取付ファスナ類の検査を行う。
 - 13) ストラップがビームとオーバーラップしている (STA327.115~360.115 の BL16.5) 場所のファスナ類の検査を行う。
 - 14) ビーム・アタッチメント (STA327.115 及び STA360.115 の BL16.5) のファスナ類の検査を行う。
 - 15) エンジン後方取付フィッティングの検査を行う。
 - 16) エンジン・ファイヤ・ウオールの検査を行う。
 - 17) エンジン・ドレン配管及びフィッティングの検査を行う。
 - 18) A P U 取付けフィッティングの検査を行う。
 - 19) 胴体の外板, フレーム, フィッティング, ブラケットなどの構造物の検査を行う。
 - 20) メイン・ランディング・ギア・ストラット取付部フィッティングの検査を行う。
 - 21) STA. 343.6 左舷フレームと外板を結合しているファスナのゆるみ及び欠損, 左舷フレームの亀裂の検査を行う。
 - 22) エンジン・カウリング・フィッティングの検査を行う。
- c) 下部胴体及び床
- 1) 床板の検査を行う。
 - 2) 電子機器室の外板, フレーム, ウェブなどの構造物及び電子機器棚の検査を行う。
 - 3) シートウエルのバッテリー棚及びベント・チューブの検査を行う。
 - 4) メイン・ランディング・ギア・ドラッグ・ビームの機体側取付けフィッティングの検査を行う。

- 5) カーゴ・フック・サポートの検査を行う。
 - 6) 機外燃料タンク・サポート及び取付部構造のき裂、腐食の検査を行う。
 - 7) 下部胴体の外板、フレームなどの構造物の検査を行う。
 - 8) 下部胴体ドレン・バルブ・ボディ及びラバー・ディスクの取付部の検査を行う。
 - 9) 床板取付面及び床板下面にあるプレート・ナットに適正なトルクが掛かるか検査を行う。
- d) **吸振装置** 次の箇所の吸振装置の検査及びトルク・チェックを行う。
- 1) ノーズ電子室
 - 2) キャビン上部
- e) **トランジション**
- 1) テール・ドライブ・シャフト取付部サポート構造 (STA471) の検査を行う。
 - 2) テール・コーンとの結合ボルトの検査を行う。
 - 3) トランジション区画の外板、フレームなどの構造物及び電子機器柵の検査を行う。
- f) **メイン・ローター・パイロン**
- 1) メイン・ローター・パイロン構成部品及びそのロック機構の検査を行う。
 - 2) メイン・ローター・パイロン構成部品の開放及びロックの確実さについて検査を行う。
- g) **テール・コーン及びテール・ローター・パイロン**
- 1) テール・ドライブ・シャフトのビスカス・ダンパー取付サポート、フィッティング及び周辺構造の検査を行う。
 - 2) テール・ランディング・ギア・フィッティング取付けファスナ類の検査を行う。
 - 3) テール・ランディング・ギア取付フィッティングの検査を行う。
 - 4) テール・コーンとテール・ローター・パイロンの結合フィッティング周辺構造の検査を行う。
 - 5) テール・コーンとテール・ローター・パイロンの結合フィッティングとブッシングの検査を行う。
 - 6) テール・コーンとパイロン結合ボルトの検査を行う。
 - 7) テール・コーンの外板、フレームなどの構造物の検査を行う。
 - 8) テール・ローター・パイロンのステップ (上方及び下方) の検査を行う。
 - 9) パイロンのスタビレータ、中間ギア・ボックス及びテール・ギア・ボックスの各取付部フィッティングの検査を行う。
 - 10) テール・ローター・パイロンの外板、フレーム、フィッティングなどの構造物の検査を行う。
 - 11) テール・ドライブ・シャフト及びテール・ローター・パイロンのフェアリング及びアクセス・パネルの検査を行う。
 - 12) テール・ローター・パイロン・ステップ (上方及び下方) の適正な作動について検査を行う。

- 13) テール・コーン側傾斜ヒンジ・フィッティングのシヤ・ピン取付け部であるパッド・アップ面に防食剤 (AV-30) を塗布する。
- 14) 傾斜ヒンジ・フィッティング面にフルイド・フィルムNASを塗布する。

h) スタビレータ

- 1) スタビレータのフィッティング, フレーム, 外板などの構造物の検査を行う。
- 2) スタビレータ上下の遊びについて, 10類1T第2402号1.2 1.27.4に従い, 測定を行う。

A.9.2 胴体コンパートメント

- a) パイロット, コパイロット, シート・トラックの検査及びロック機構の作動点検を行う。
- b) イナーシャ・リールの検査を行い, 手動コントロールは確実に作動するか点検を行う (偶数回PAR)。
- c) 安全ベルトの検査を行う。
- d) シート・アッテネーターの動きの点検を行う (偶数回PAR)。
- e) 乗員用座席は, 取外し保管及び再取付けだけを行う。
- f) バック・ミラー, カーゴ・ミラーは取外し保管を行い, サポートについてのみ検査を行う。
- g) 内張りは取付ファスナのゆるみ, 欠品, 損傷のみ検査を行う。
- h) ポータブル消火器は取外し保管のみを行う。
- i) 非常フロート系統構成品の検査及び非常フロートの膨脹・漏えい試験を行う。
- j) 酸素ボンベ固定装置の検査を行う。
- k) 貨物格納装置の検査を行う。

A.9.3 ランディング・ギア

- a) ランディング・ギア・ブレーキ系統構成品の検査を行う。
なお, ブレーキ・ディスク, パッド, バッキング・プレート, トルク・チューブの摩耗測定及びブレーキ・ディスク, バッキング・プレートの変形量測定を行う。
- b) メイン・ランディング・ギア構成品 (ストラット, ドラグ・ビーム, ウェイト・センシング・アーム及びスイッチ, ストライカ・ボルト) の検査を行う。
- c) メイン・ホイール, ベアリング, アクスル及びタイヤの検査を行い, ホイール組立 (5003889-K2) のボルト及びナットを新品に交換する。
- d) テール・ランディング・ギア構成品 (ショック・ストラット, トルク・アーム, ロック・アクチュエータ, コネクタ・ピン, 配線等) の検査を行う。
- e) テール・ホイール, ベアリング及びタイヤの検査を行う。
- f) パーキング・ブレーキ・ハンドル機構の検査を行う。

- g) 尾脚ヨーク取付け時、ワッシャと機体側フィッティングの接着面にシーラント (MIL-PRF-81733 TY2) を塗布し、ワッシャの周囲にフィレットシールを行う。
- h) 尾脚取付フィッティング・ラグ部全体 (両面) に防食剤 (AV-30) を塗布する。
- i) メイン・ランディング・ギア、テール・ランディング・ギアのショック・ストラットのピストン表面にフルイド・フィルムNASを塗布する。

A.9.4 フライト・コントロール

- a) フライト・コントロール系統のスティック、ペダル・アジャスタ、ロッド、ベルクランク、ベルクランク・サポート、プーリー、パイロット・アシスト・サーボ、ミキシング・ユニット、プライマリ・サーボ、テール・ローター・サーボなどの検査及び給脂を行う。
- b) フライト・コントロール系統のサポート、ペダル、ヨーク・ハウジング組立、ベースプレート及びブラケット (バランス・スプリング用) の取付けは確実か、損傷、ガタの検査を行う。
- c) フライト・コントロール・ケーブル、ガイド・グロメット及びガイド・チューブの検査を行う。
- d) ベアリングの潤滑を10類1T第2402号1.1によって行う。
- e) ペダル・アジャスターは、シリアル番号の後にAが付されていないものについて分解して、潤滑油の交換を行う。

A.9.5 ローター・システム

- a) メイン・ローター・ブレードについて、次の検査を行う。
 - 1) き裂、剥れ、腐食など (チップ・キャップは取外す。)
 - 2) BIMインジケータのテスト・レバーによる作動点検
 - 3) 窒素ガス圧力
- b) メイン・ローター・ヘッドについて、次の主な構成品について検査を行う。
 - 1) バイファイラ・アセンブリ (ウエイトは取外す。)
 - 2) ハブ・アセンブリ及び上部、下部プレッシャ・プレート
 - 3) エクステンション・シャフト
 - 4) ピッチ・ホーン
 - 5) スワッシュプレート

なお、ベアリングは、スワッシュプレートを作動して検査する (回転シザーズは取外す。)
 - 6) メイン・ローター・ピッチ・コントロール・ロッド組立及びローター・ヘッドのチタン・ボルト (取外して行う。)
 - 7) ダンパー・アセンブリ (取外して行う。)
 - 8) エクspanダブル・ピン (取外して行う。)
 - 9) スピンドル・アセンブリ (取外して行う。)

- 10) エラストメリック・ベアリング，エンド・プレート及びスリーブ・ベアリング
- 11) ドループ・ストップ・ピン・ブッシング及びドループ・ストップ・リング
- c) テール・ローター・ブレード・アセンブリの検査を行う。
- d) テール・ローター・ブレードのピボット・ベアリングの検査を行う。
- e) テール・ローター構成部品（ピッチ・チェンジ・ビーム，ピッチ・コントロール・ロッド，ボンディング・ジャンパー，外側リテンション・プレート等）の検査を行う。
- f) テール・ローター・ブレードのピッチ・ホーンとニッケル・アブレーション・ストリップ間の導通試験を行う。

A.9.6 ターボシャフト・エンジン

- a) エンジンについては，次の検査を行う。
 - 1) コンプレッサの自由な回転
 - 2) マウント・フランジのき裂，損傷
 - 3) バリアブル・ジオメトリ・リンケージ系統の変形，クラック，損傷，取付けの確実さ及びアクチュエーティング・シャフトの連結の確実さ
 - 4) HMU，エンジン燃料ブースト・ポンプ，潤滑／スカベンジ・ポンプ及びエンジン・オイル・クーラーの漏えい，損傷，取付けの確実さ
 - 5) DEC，ヒストリ・レコーダの損傷，取付けの確実さ
 - 6) 電気ケーブル（緑色，青色，黄色）及び電気イグニッション・リードの損傷，取付けの確実さ
 - 7) エンジン・フレーム及びケースのき裂，変形，ホット・スポット，取付けの確実さ
 - 8) コンバッション・セクションのホット・スポット，膨らみ及び高温ガス漏えいの形跡
 - 9) ガス・ジェネレータ・タービン・セクションのき裂，変形，ホット・スポット，取付けの確実さ
 - 10) パワー・タービン・ローターのブレードの損傷，過熱の形跡，自由な回転
 - 11) 燃料フィルタ及びオイル・フィルタのインペンディング・バイパス・インジケータ・ボタンの飛び出しはないか。
 - 12) オイル・スカベンジ・スクリーン及びチップ・ディテクタとオイル・ストレーナの異物
 - 13) エンジン・ブリード・ポートのき裂
 - 14) 防氷ブリード・アンド・スタート・バルブ取付けの確実さ
 - 15) インレット・ガイド・ベーン及び第1段ブレードの損傷のボアスコープ検査
 - 16) コンプレッサ・ローター第5段ブレード，ベーン及びインペラ・ベーンの損傷のボアスコープ検査

- b) エンジン・オイル分光分析 (SOAP) のため、次の時期にエンジン・オイルを採取し、納入部隊へ機体とともに引き渡す。

- 1) 最初の飛行試験後
- 2) 新品又はO/H NEWエンジンを搭載した最初の飛行試験後

A.9.7 APU

- a) ニューマチック・スタート・バルブの検査を行う。
- b) ハンド・ポンプ, 配管, ホースの検査を行う。
- c) APU構成品の検査を行う。ただし、次のものは取外して行う。
 - 1) シュラウド
 - 2) 燃料コントロール・カバー

A.9.8 トランスミッション

- a) メイン・トランスミッション及びアクセサリの検査を行う。
- b) メイン・トランスミッションのチップ・ディテクタ (ストレーナを含む。) 及びアクセサリ・モジュールのコーン・オイル・スクリーンの点検, 清掃を行う。
- c) テール・ドライブ・シャフト, フレキシブル・カップリング, バランス・ウエイト及び接続ボルト, ナットの検査を行う。
- d) インプット・モジュール・フランジの検査を行う。
- e) ビスカス・ダンパー・ベアリングサポート・アセンブリについて、次の作業を行う。
 - 1) チューブ・アセンブリのシリコン・オイル量の点検
 - 2) フィラー・スクリューを新品と交換
 - 3) サポート・アセンブリを分解し、構成品の検査
 - 4) ビスカス・ダンパー・ベアリングを新品と交換。ただし、No.1 ベアリングは検査のみ実施する。
- f) テール・ドライブ・シャフトのアライメント・チェックを行う。
- g) 中間ギア・ボックスの検査及びチップ・ディテクタの点検, 清掃を行う。ただし、インプット・フランジ及びアウトプット・フランジは取外して行う。
- h) テール・ギア・ボックスの検査及びチップ・ディテクタの点検, 清掃を行う。ただし、インプット・フランジは、取外して行う。
- i) インボード・リテンション・プレート (テール・ギア・ボックス側) について点検及びスリーブ (70358-06334-104) を新品と交換する。ただし、テール・ギア・ボックスを新品又はオーバー・ホール品に交換する場合を除く。
- j) ローター・ブレーキ系統構成品の検査を行う。ただし、ローター・ブレーキ・ディスク及びラ

イナーは、取外して行う。

- k) オイル・クーラー・ファン，ダクト及びシャフト・アセンブリの検査を行う。ただし，シャフトは，取外して行う。
- l) オイル・クーラー・ラジエータの検査及び清掃を行う。
- m) メイン・トランスミッション及びオイル・クーラー配管の損傷及び取付け状態について検査を行う。
- n) 次の箇所に油漏れがないか，検査を行う。
 - 1) メイン・トランスミッション及び潤滑油系統
 - 2) 中間ギア・ボックス
 - 3) テール・ギア・ボックス
- o) ハイドロ・ポンプを取外し，スプライン部に給脂する。
- p) メイン・トランスミッション潤滑油のフィルター・ボール及びフィルタを取外し，点検を行う。
- q) メイン・トランスミッション，中間ギア・ボックス及びテール・ギア・ボックスについては，潤滑油分光分析（SOAP）のため，次の時期に潤滑油を採取し，納入部隊へ機体とともに引き渡す。
 - 1) 最初の飛行試験後
 - 2) 新品又はO/H NEWを搭載した最初の飛行試験後
- r) エンジン・アウトプット・シャフトのフレキシブル・カップリングを新品と交換する。ただし，ダイヤフラム・カップリング(70351-08255-102)装備機は，部品交換を行わない。

A.9.9 パワー・プラント・インストレーション

- a) エンジン付属機体部品の損傷，取付け状態について，検査を行う。
- b) 次の部品を取外し，外観検査を行う。
 - 1) スタータ
 - 2) エキゾースト・エジェクタ
 - 3) ダクト・クランプ
 - 4) マウント・リンク及び整流ダクト
 - 5) エンジン・アウトプット・シャフト及び前方サポート・チューブ
- c) エンジン付属機体部品のホースを取外して洗浄を行う。
- d) エンジン・マウント・ストラットの検査を行う。
- e) パワー・アベイラブル・スピンドル，ロード・ダイヤモンド・スピンドル及び燃料セレクター系統について，次の作業を行う。
 - 1) 系統全体の検査

2) ケーブル、ロッド等の適正な作動の検査

- f) エンジン・コントロール・クォードラントの検査を行う。
- g) ブリード・エア・シャットオフ・バルブの洗浄を行う（70306-02102-M106 のシリアル番号の後にCが付されているものは除く。）。

A. 9.10 空気調和系統

- a) 風防防氷系統構成品の検査を行う（偶数回PAR）。
- b) エンジン防氷系統構成品の検査を行う。
- c) アイス・ディテクタ系統構成品の検査を行う（偶数回PAR）。
- d) ブレード除氷系統構成品の検査を行う。
- e) 空気調和装置構成品の検査を行う。
- f) 電子機器冷却装置構成品の検査を行う（偶数回PAR）。
- g) ECS低圧スイッチのシールの検査を行う。

A. 9.11 電気系統

- a) ACジェネレータの外観検査を行う。
- b) バッテリーは10類3第0063号によって検査及び保守を行う。
- c) バッテリー過熱警報装置の構成品の外観検査を行う。
- d) 次の部品の損傷、過熱の形跡、取付け状態の検査を行う。
 - 1) サーキット・ブレーカ・パネル
 - 2) DCコンバータ（偶数回PAR）
 - 3) ユーティリティ・リセプタクル（偶数回PAR）
 - 4) 交流変流器及び変圧器
 - 5) 外部電源モニター・パネル（偶数回PAR）
 - 6) ジェネレータ・コントロール・ユニット
 - 7) リレー、スイッチ、バスタイコンタクタ及びカレント・リミッタ
 - 8) 調光器（偶数回PAR）
- e) この仕様書に示す分解範囲で、検査可能なすべての系統の配線及び接続部の検査を行う。
- f) 次の電気系統ワイヤ・ハーネス・コネクタの結合を取外して検査を行う。
 - 1) エンジン・コンパートメントのコネクタ
 - 2) APU・コンパートメントのコネクタ
 - 3) トランスミッション・コンパートメントのコネクタ
 - 4) メイン・ローター・ヘッド周りのコネクタ
 - 5) テール・ローター及びテール・ギア・ボックス周りのコネクタ

- g) 次の部品を取外し、検査を行う。
- 1) LH/RH/No.3 ミセラニクス・リレー・パネル
 - 2) No.4 リレーボックス
 - 3) ミセラニクス・スイッチ・パネル
- h) 次の電気プラグは、センターラインテープ及びエキスパンダを取外して検査を行う。
- 1) メイン・ローター・パイロン内油圧系統
 - 2) STA. 297 及び STA. 651 スタビレータ系統

A.9.12 照明系統

- a) 各種警報灯及びインジケーション・ライトの検査を行う。
- b) すべてのライトの検査を行う（ユーティリティ灯を除く。）。
なお、ユーティリティ灯は機体配線の導通点検を行う。
- c) 緊急脱出口照明系統のライト・チューブ、コントロール・ユニット及びバッテリー・パックの検査を行う（ただし、ライト・チューブ、コントロール・ユニットは偶数回PAR）。
なお、バッテリー・パックは電圧点検を行う。

A.9.13 作動油圧系統

- a) ハイドロ・ポンプ、バックアップ・ポンプ、リザーバ、プライマリ・サーボ・マニホールドなどの作動油圧系統構成品の検査を行う。
- b) 配管の検査を行う。
- c) 作動油の汚染度管理
10類1T第219号表2-1に示オクラス5以上の汚染度レベルで管理する。
- d) マニホールド・バルブのフラッシングを行う。

A.9.14 燃料系統

- a) 燃料セルの検査交換基準は、海幕装備第5622号による。ただし、製造後7年以上8年未満の燃料セルの漏えい検査は航空機に取付けた状態で実施する。
なお、搬入時における納入予定日までに製造後8年以上を経過する燃料セルは交換する。
- b) 主燃料タンク（No.1, No.2）及び機内補助燃料タンクについて、燃料セル内と周りの部品の検査を行う。
- c) 燃料セル取付け後燃料セルの漏えい試験を行う。
- d) 機外補助燃料タンクの検査を行う（偶数回PAR）。
- e) 機外補助燃料タンクからベント・バルブ及びドレン・バルブを取外し、外観及びポペットの適正な動きについて、検査を行う（偶数回PAR）。
- f) 機外補助燃料タンクのフューエル・ディスコネクト及びフィメール・ディスコネクトのポペッ

トの適正な動きについて、検査を行う（偶数回PAR）。

- g) 燃料移送系統構成品の検査を行う。
- h) 燃量計の校正を行う。

A.9.15 ユーティリティ

- a) ホイスト系統構成品の検査を行う。
- b) エンジン消火系統について、コンテナ、消火配管の検査及び回路の導通試験を行う。
- c) 火災検知系統について、ファイヤ・ディテクタの検査を行う。
- d) 風防ワイパー系統について、構成品の検査を行う。
- e) 風防ウォッシャ構成品の検査を行う。
- f) カーゴ・フックの機体側配線の導通点検を行う。
- g) ERU119エジェクタ・ラックの検査を行う。
- h) 飛行データ記録器（FDR）系統は、次の点検及び試験を行う。
 - 1) カプセル・ディスペンサのアンビリカブル・ケーブル導通点検
 - 2) カプセル・ディスペンサのプレッシャ・スイッチ単品点検
 - 3) 火工品関連の機体配線導通点検
 - 4) カプセル・ディスペンサのバッテリー電圧点検
- i) DFUの腐食、損傷等の検査及びバッテリーの有効期限の確認を行う。
- j) FDRスロットル・ポジション・センサ取付用ナットの点検を行い、旧ナット（AN316C4R）を新ナット（74A43003-103）に交換する。
- k) L/H側PCLクォードランド消火系統ハーネスのルーティングをシリアル番号の後にAが付されていないもののみ変更する。

A.9.16 計器系統

- a) ピトー静圧ラインの検査を行う。
- b) スタンバイ・コンパス及び外気温度計とセンサーの検査を行う（偶数回PAR）。
- c) 計器板及び計器板に取付いている計器、コントロール・パネル及び配管の検査を行う。
- d) 静圧孔の検査を行う（偶数回PAR）。

A.9.17 自動操縦系統

- a) スタビレータ・アクチュエータの検査を行い、ピストン表面にフルイド・フィルムNASを塗布する。
- b) スタビレータ・ポジション・センサーの検査を行う。
- c) スタビレータ・ポジション・センサーのベース軸部へ防せい油 MIL-PRF-16173 グレード3を塗布する。

A. 9.18 電子系統

- a) 次の各アンテナ及び構成品の検査を行う。
- 1) VHFアンテナ
 - 2) TACANアンテナ
 - 3) HFアンテナ
 - 4) VOR/LOCアンテナ
 - 5) ADFセンスアンテナ
 - 6) UHF/AMアンテナ
 - 7) グライド・スロープ・アンテナ
 - 8) マーカー・ビーコン・アンテナ (VSWR (電圧定在波比) 特性の点検及び調整を含む。)
 - 9) IFF/SIFアンテナ
 - 10) GPSアンテナ
- b) 航法気象レーダー・レドームの検査を行う。
- c) 電子機器系統の全ての緩衝器及び取付棚の検査を行う。

A. 10 組立

“A. 6 航空機の分解範囲”の項により取外された部品等は、該当技術資料に基づき再取付けを行い、所定の調整及び系統のリギングを行う。

A. 11 組立後の作動試験

航空機の組立が完了し、所定の調整が終了したならば、次の作動試験を行う。

A. 11.1 機体及び降着装置

- a) 主脚系統
- 1) ウェイト・オン・ホイール電気回路
 - 2) ホイール・ブレーキ系統
- b) 尾脚系統
- 尾輪ロック
- c) 非常フロート系統

A. 11.2 操縦系統

- a) 操縦装置
- b) テール・ローター・クォードラント警報信頼性点検

A. 11.3 ローター系統

ガストロック

A. 11.4 トランスミッション系統

- a) トランスミッション及び指示系統
- b) ローター・ブレーキ系統
- c) 中間ギア・ボックス及び指示系統
- d) テール・ギア・ボックス及び指示系統
- e) チップ・ディテクタ系統

A. 11.5 空気調和系統

- a) 空気調和系統
- b) エンジン及び空気取入口防氷系統
- c) 風防防氷装置
- d) ブレード除氷系統
- e) 電子機器冷却系統
- f) 着氷検出系統

A. 11.6 電源及び照明系統

- a) 交流電源系統
 - 1) 交流電源回路
 - 2) 交流電源配電系統
- b) 直流電源系統
 - 1) バッテリ系統
 - 2) コンバータ系統
- c) 照明系統
 - 1) 各系統の照明ライト（ユーティリティ灯を除く。）
 - 2) 緊急脱出口照明灯

A. 11.7 油圧系統

- a) 系統のブリーディング
- b) No. 1, No. 2, バック・アップ油圧系統

A. 11.8 燃料系統

- a) 給油及び排油系統
- b) 燃料プライム・ブースト系統
- c) 燃料管制系統
- d) 燃量指示系統

- e) 系統の校正点検
- f) 燃料ローレベル警報装置
- g) 機外補助燃料タンク投棄系統

A. 11.9 ユーティリティ系統

- a) 火災検知系統
- b) 消火系統
- c) レスキュー・ホイスト（レスキュー・ホイストの不具合が発生した場合は各コントロールでの作動確認のみ。）
- d) 風防ウォッシャ及びワイパー系統
- e) 飛行データ記録器（飛行／音声データ記録試験，データ再生確認を含む。）

A. 11.10 計器系統

- a) コーション及びアドバイザリ系統
- b) 飛行計器
- c) 縦型計器表示装置（VIDS）
- d) ピトー静圧ライン漏えいテスト
- e) ピトー及び静圧ヒータ
- f) TASシステム
- g) 統合表示装置

A. 11.11 自動操縦系統

- a) 自動操縦システム
- b) 姿勢方位基準装置
- c) 安定性増大装置
- d) スタビレータ系統

A. 12 航空機の仕上げ

A. 12.1 機体外面再塗装及び部分塗装

機体外面再塗装及び部分塗装は、次による。

- a) 塗装をはく離した外面の再防水シール，再塗装及び再標識を行う。ただし，複合材部分は，部分塗装を行うことができる（偶数回PAR）。
- b) 塗装をはく離した部分については，再防水シール，再塗装及び再標識を行う。
なお，補修等による塗装面の色むらは許容される（奇数回PAR）。
- c) 蛍光塗装部分のはく離及び再塗装を行う（奇数回PAR）。

A.12.2 機体内面再塗装及び部分塗装

機体内面、部品等の部分塗装を必要に応じて行う。

なお、補修等による塗装面の色むらは許容される。

A.12.3 ウェイト・アンド・バランス

所要の作業が終了した航空機に対して、ウェイト・アンド・バランスの測定を行う。ただし、アライメント検査は行わない。

A.12.4 漏水試験

ノーズ・ドア、コックピット・ドア、コックピット・ドア・ジェクション・ウインド、コックピット・ウインド、コックピット・風防、カーゴ・ドア、カーゴ・ドア・ジェクション・ウインド及びバブル・ウインドについて、漏水試験を行う。

A.12.5 コンパスの時差修正

コンパスの自差修正を行う。

A.12.6 機体外面塗装と異なる色の部品

機体外面塗装と異なる色の部品を取付ける場合は、機体外面塗装色に合わせて塗装を行う。

A.13 飛行試験等

A.13.1 地上運転試験に先だち、所要の燃料、エンジン・オイル、作動油などの補給及び防せい解除を行う。

A.13.2 飛行前点検及び飛行後点検は、10類1T第2406号1及び10類1T第2406号2によって行う。

A.13.3 特別検査は、10類1T第2406号3によって行う。

A.13.4 社内飛行試験は、10類1T第2401号付録2によって行う。搬入時装備されない装備品の飛行試験は行わない。

A.13.5 飛行試験の時間は、次を標準とする。

社内飛行試験 6.0 時間

A.14 空輸準備等

A.14.1 航空機の来歴簿に所要事項を記入する。

A.14.2 インベントリを行う。

A.14.3 空輸のための飛行前点検を行う。

付表A.1-UH-60J PAR機能部品作業標準

系 統 名	名 称	部 品 番 号	CODE
1 電気系統及び 点灯系統	バッテリー・コンディション・アナライザ	70550-02029-M108	CR
2 計器系統	a) 対気速度計	70450-21942-M101	CR
	b) パイロット&コパイロット・ディスプレイ ・ユニット	70450-21943-M314	CR
	c) 気圧高度計	AAU-31A/A	CR
	d) セントラル・ディスプレイ・ユニット	70450-01801-A306	CR
	e) スタビレータ位置指示器	70450-21953-M101	CR
	f) エンコーダ高度計	AAU-32/A-2	CR
	g) シグナル・データ・コンバータ	70450-21943-M310	CR
	h) TASコンピュータ・ユニット	2600-700-0000	CR
	i) TASトランスデューサ	2504-901-M	CR
	j) 外気温度センサ	2504-600	CR
	k) EFIS表示器	7003430-902	CR
	l) コース・ヘディング・セレクタ	4026206-971	CR
	m) シンボル・ジェネレータ	7011672-130	CR
	n) スイッチ・パネル	70600-01326-041	CR
3 燃料系統	a) 圧力給排油バルブ	70307-03026-M102	CR
	b) ハイレベル・シャット・オフ・バルブ	70307-03012-103 65317-08218-101	CR CR
4 自動操縦系統	a) AFCSコンピュータ	70600-01810-A103	CR
	b) AFCSコントロール・パネル	70902-21000-K044	CR
	c) ターン・レート・ジャイロ	TRU-2A/A	CR
	d) 姿勢方位基準ユニット	3773-1100	CR

付表A.1-UH-60J PAR機能部品作業標準(続き)

系 統 名	名 称	部 品 番 号	CODE
4 自動操縦系統 (続き)	e) コントロール・ディスプレイ・ユニット	3773-1300	CR
	f) SASアンプ	70901-21908-103	CR
	g) スタビレータ・コントロール・アンプ	70902-22001-A045	CR
	h) レート・ジャイロ	70901-21913-M101	CR
	i) アクセロ・メータ	65610-03031-M303	CR
	j) エア・スピード・トランスデューサ	70901-02907-106	CR
	k) パワー・スイッチング・アッシー	70450-21060-M041	CR
	l) エア・データ・トランスデューサ	70450-01081-108	CR
注記 CODE は, MHS-V-46008 の記号による。			

付表A.2-UH-60J PAR非破壊検査

	名 称	部 品 番 号	個数	記号
エ ア フ レ ー ム	1 メイン・トランスミッション取付			
	a) フィッティング (前方 STA327.115) ^{a)}	70219-02131-102	1	Z
	b) フィッティング (後方 STA360.115) ^{a)}	70219-02132-103	1	Z
	c) フィッティング (BL 16.5 左右) ^{a)}	70219-02133-()	2	Z
	2 後胴及びテール・パイロン			
	a) フィッティング (パイロン側 スタビ取付)	70209-06052-()	2	Z
	b) フィッティング (パイロン側スタビ用アクチュエータ取付) ^{b)}	70209-06054-043	1	Z
	c) フィッティング (パイロン側結合金具) ^{b)}	70209-06051-043	1	Z
	d) フィッティング (後胴側 結合金具) ^{b)}	70219-05001-044	1	Z
	e) フィッティング (スタビ側 センター取付金具) ^{b)}	70209-07051-()	2	Z
	f) フィッティング (アクチュエータ取付金具) ^{b)}	70209-07053-103	1	Z
	g) ボルト (スタビ取付) (RH)	70209-07057-()	1	M
	h) ボルト (スタビ・アクチュエータ取付)	70400-06802-101	2	M
	i) テーパーピン (テール・パイロン取付)	70209-05006-101	8	M
	j) サポート (T. D. S) ^{b)}	70212-05005-()	2	Z
	k) フィッティング (T. D. S) ^{b)}	70219-03006-011	1	Z
	3 下部及び上部胴体			
	a) サーボ・ビーム	70209-22103-()	4	Z
	b) フィッティング (主脚取付金具)	70219-02135-101	2	Z
	c) フィッティング (主脚取付金具)	70219-02526-()	2	Z
4 テール・コーン				
フィッティング (T. L. G)	70219-05002-()	1	Z	

付表A.2-UH-60J PAR非破壊検査(続き)

	名 称	部 品 番 号	個 数	記 号
ロータリー・システム	1 ボルト (ダンパー)	70103-28702-101	8	Z
	2 ボルト (シザース)	SS5011-16-80A	2	Z
	3 ボルト (シザース)	SS5011-12-81H	2	Z
	4 ボルト (メイン・ピッチ・コントロール・ロッド 上取付)	70103-08801-103	4	Z
	5 ボルト (メイン・ピッチ・コントロール・ロッド 下取付)	70103-08801-102	4	Z
	6 ボルト (テール・ピッチ・コントロール・ロッド 取付)	70103-08801-101	8	Z
トランスミッション	1 サポート (オイルクーラ取付サポート左前方)	70361-03010-045	1	Z
	2 サポート (オイルクーラ取付サポート右前方)	70361-03010-046	1	Z
	3 サポート (オイルクーラ取付サポート 後方)	70361-03010-013	1	Z
	4ハウジング (ビスクス・ダンパー・ベアリング・ハウジング)	70361-05061-102	4	Z

付表A.2-UH-60J PAR非破壊検査(続き)

	名 称	部 品 番 号	個 数	記 号
パ ワ ー ・ プ ラ ン ト ・ イ ン ス ト レ ー シ ョ ン	1 ストラット・アセンブリ (E/G外)	70305-02106-043	2	M
	2 ストラット・アセンブリ (E/G内)	70305-02105-043	2	M
	3 ストラット・アセンブリ (E/G内)	70305-02119-042	2	M
	4 フィッティング (E/Gマウント外)	70305-02111-043	2	M
	5 フィッティング (E/Gマウント内)	70305-02110-043	4	M
	6 サポート (E/Gマウント)	70305-02115-103	2	Z
	7 ボルト (E/Gリンク取付)	74178-8-19	12	Z
	8 リンク (E/Gマウント)	70305-02107-102	12	Z
	9 クランプ (ディスワール・ダクト取付)	70300-30800-()	2	Z
	10 クランプ (コンプレッサ・ブレード・エア・チューブ取付)	12J63-125	4	M
	11 クランプ (E/Gスタート・エア・チューブ取付)	12J16-150	11	M
ラ ン デ イ ン グ ・ ギ ア	1 バッキング・プレート (ホイール・ブレーキ)	5003938	2	M
	2 トルク・チューブ (ホイール・ブレーキ)	5003952	2	M
	3 固定ディスク (ホイール・ブレーキ)	5003975	2	M
	4 回転ディスク (ホイール・ブレーキ)	5003973	4	M
	5 ホイール (M. L. G)	5003889-K2	2	Z
	6 ビーム組立 (左舷) (主脚ドラグ・ビーム) 〇	70250-12015-K041	1	E
	7 ビーム組立 (右舷) (主脚ドラグ・ビーム) 〇	70250-12015-K042	1	E

付表A.2-UH-60J PAR非破壊検査(続き)

	名 称	部 品 番 号	個数	記号
A P U	1 マウント・アセンブリ (APU外) ^{d)}	70303-03030-047	1	Z
	2 マウント・アセンブリ (APU内) ^{d)}	70303-03029-044	1	Z
	3 サポート (APU中央) ^{d)}	70303-03003-102	1	Z
	4 ティ・アセンブリ (APU外) ^{d)}	70303-03027-043	1	Z
	5 ティ・アセンブリ (APU内) ^{d)}	70303-03027-041	1	Z
	6 ブラケット (APU内) ^{d)}	70303-02000-102	1	Z
	7 ラグ (APU STA 420, 446) ^{d)}	70303-03036-101	2	Z
ホ イ ス ト	1 サポート, ベース組立	70850-62111-041	1	Z
	2 サポート, アーム組立	70850-22113-042	1	Z
カ ー ゴ ・ フ ッ ク	1 リテーナ組立 (STA 343)	70219-02512-()	1	Z
	2 リテーナ組立 (STA 363)	70219-02512-()	1	Z
	3 フィッティング組立 (STA 343)	70219-02511-K045	1	Z
	4 フィッティング組立 (STA 363)	70219-02511-044	1	Z
ア ン チ ・ ア イ ス	クランプ (アンチ・アイシング・バルブ取付)	12J16-150	4	M

注記1 記号Zは、蛍光浸透探傷検査を示す。

記号Mは、磁気探傷検査を示す。

記号Eは、渦流探傷検査を示す。

注記2 構造部材でリベット付けされたもの及び取外し困難なものは、取付け状態で探傷検査を行う。

注^{a)} メイン・モジュール取付穴部周辺について検査を行う。

^{b)} 2回目PAR以降に検査を実施する。

^{c)} ジャッキパッド取付孔(上下)付近について検査を行う。

^{d)} 偶数回PARのみ検査を実施する。

付表 A.3-UH-60J PAR標準修理範囲

	部 品 名 称	修 理 等 の 範 囲
全 般	1. ボルト, ナット, クランプ, グロメットなど	交換
	2. デカル, ステンシル, マーキ ング (飛行安全に影響するも の)	a) レンジ・マークの張替え b) デカルの張替え c) ステンシル, スリップページ・マークの修正 又は塗替え
	3. 構造部材	腐食処理
	4. 配管	a) ホース・アセンブリの交換 b) チューブの傷の磨き取り修理及び交換 c) クランプなどの交換

付表A.3-UH-60J PAR標準修理範囲(続き)

	部 品 名 称	修 理 等 の 範 囲
エ ア フ レ ー ム	1 胴体外部 (パイロン, スタビ レータを含む。)	<ul style="list-style-type: none"> a) パッチによる修理 b) 切継ぎ修理 c) 傷, 凹みの修理 d) キャンの修理 e) リベットの交換 f) 複合材の修理 g) フィッティングの交換 (メイン・モジュール取付部フィッティング, パイロン取付部フィッティング, ランディング・ギア取付部フィッティングの交換及びこれと同程度の作業を除く。) h) ステップ, ハンドグリップ, カバー類の修理及び交換 i) シールの交換 j) 外板継ぎ目のシーリング補修 k) パイロン・アセンブリの交換 l) スタビライザ・アセンブリの交換 m) 腐食処理
	2 胴体及び構造部材	<ul style="list-style-type: none"> a) パッチによる修理 b) アンクル, チャンネル, ガセット, ステイフナ等の交換(主構造部材の分解を伴う場合を除く。) c) フレーム, バルクヘッド, キャップ・アンクルストリング, インターコストル等の修理 (主構造部材の大修理を除く。) d) 複合材の修理

付表A.3-UH-60J PAR標準修理範囲(続き)

	部 品 名 称	修 理 等 の 範 囲
エ ア フ レ ー ム (続 き)	3 床板	a) 床板の交換 b) 点検口カバーの修理及び交換 c) 可能な範囲の修理(交換品がない場合。)
	4 コックピット・キャノピ	a) パッチによる修理 b) フレーム, チャンネル, ホーマーなどの修理及び交換 c) ガラスの交換 d) ウインド・パネルの交換
	5 ジェクション・ウインド(パネル・ウインドを含む。)	a) ウインド・パネルの交換 b) ラバー・シールの交換 c) 窓枠及びラッチ機構の修理 d) ウインド・パネルの磨き修理
	6 カーゴ・ドア	a) パッチによる修理 b) ラッチ機構の修理及び交換 c) スライダの交換 d) ラバー・シールの交換 e) アセンブリの交換
	7 ノーズ・ドア	a) パッチによる修理 b) ロック機構の修理及び交換 c) ラバー・シールの交換 d) アセンブリの交換
	8 コックピット・ドア(左舷及び右舷)	a) パッチによる修理 b) 構造部材の修理 c) 複合材の修理 d) ヒンジの交換 e) ラッチ機構の修理及び交換 f) ラバー・シールの交換 g) アセンブリの交換

付表A.3-UH-60J PAR標準修理範囲(続き)

	部 品 名 称	修 理 等 の 範 囲
エ ア フ レ ー ム (続 ぎ)	9 メイン・ロータ・パイロン (エンジン・エア・インレット, エキゾースト・モジュール, エンジンプラット・ホーム, APU等アクセスを含む。)	a) パッチによる修理 b) 外板の交換 c) 構造部材の修理 d) ラッチ機構の修理及び交換 e) サポート・ケーブルの交換 f) アセンブリの交換 g) 複合材の修理 h) スクリーン及びスタッドの交換
	10 吸振装置	a) ベアリング, ロッドなどの交換 b) アセンブリの交換
胴 体 コ ン パ ー ト メ ン ト	1 シート	a) シート構造の修理及び交換 b) 作動機構, ロック機構の修理及び交換 c) レールの修理及び交換
	2 安全ベルト	構成品の交換
	3 イナーシャ・リール	アセンブリの交換
	4 バック・ミラー	構成品の交換
	5 カーゴ・ミラー	構成品の交換
	6 内張り	取付ファスナー類の交換
	7 非常フロート	a) フロート・バックの交換 b) エア・シリンダ・アセンブリ, 圧力計, エアバルブ及び取付クランプの交換
	8 酸素ボンベ固定装置	小修理及び構成品の交換
	9 貨物格納設備	小修理及び構成品の交換

付表A.3-UH-60J PAR標準修理範囲(続き)

	部 品 名 称	修 理 等 の 範 囲
ラン デ ィ ン グ ・ ギ ア	1 メイン・ランディング・ギア	a) ストラット・アセンブリの交換 b) ストラットのエア・バルブの交換 c) ホイール及びタイヤの交換 d) 外部から可能な範囲の腐食処理 e) ホイール・アセンブリ・ベアリング・カップリン グの交換
	2 ドラグ・ビーム	a) アセンブリの交換 b) 外部から可能な範囲の腐食処理
	3 テール・ランディング・ギア	a) ストラット・アセンブリ, ヨーク・アセンブリ, フォーク・アセンブリなど構成部品の交換 b) ストラットのエア・バルブの交換 c) ホイール及びタイヤの交換 d) 外部からの可能な範囲の腐食処理 e) ロック・アクチュエータの交換
	4 ホイール・ブレーキ系統	a) 構成部品の交換 b) 腐食処理 c) ライニング, ディスクの交換

付表A.3-UH-60J PAR標準修理範囲(続き)

	部品名称	修理等の範囲
フライト・コントロール	1 スティック(コレクティブ・スティック及びサイクリック・スティック)	a) アセンブリの交換 b) グリップ, 電線, ソケットの交換 c) スティックのスイッチの交換 d) スティックのチューブ・アッシーの交換
	2 ラダー・ペダル	a) アセンブリの交換 b) ベアリングの交換
	3 ベルクランク, サポート, ヨーク, クォードラント, アーム, コントロール・ロッド, プーリー, フェアリード等	a) アセンブリの交換 b) ベルクランク, ヨーク及びロッドのベアリングの交換 c) 腐食処理
ローター・システム	1 メイン・ローター・ヘッド	外部から交換可能な部品の交換
	2 メイン・ローター・ブレード	a) メイン・ローター・ブレード・アセンブリの交換 b) チップ・キャップの交換 c) BIMインジケータの交換 d) ポケット・スキンの傷, はく離, 腐食などの軽微な損傷の修理 e) チップ・キャップの修理

付表A.3-UH-60J PAR標準修理範囲(続き)

	部 品 名 称	修 理 等 の 範 囲
ローター・システム(続き)	3 テール・ローター	a) テール・ローター・ブレード・アセンブリの交換 b) チップ・キャップの交換 c) ブレード・スキンの軽微な損傷の修理 d) 前縁ポリウレタン・ストリップの修理 e) ピボット・ベアリングの交換 f) ブーツの交換 g) ピッチ・ビームの交換 h) コントロール・ロッド又はロッド・エンドの交換 i) ピッチ・ホーンの傷, 腐食などの修理 j) ピッチ・ビームの傷, 腐食などの修理 k) コントロール・ロッドの傷, 腐食などの修理
ターボシャフト・エンジン及びパワー・プラント・インストレーション	1 エンジン	a) エンジンの交換 b) エンジン補機類及び外部から交換可能な部品の交換(交換に伴いエンジンの台上運転を必要とするものを除く。) c) 分解しないままで可能な範囲の清掃
	2 エンジン・コントロール系統	a) コントロール系統構成品の交換 b) プッシュ・プル・コントロール・ケーブルの交換
	3 エンジン・サポート	a) マウント・ストラットの交換 b) マウント・フィッティング及びサポートの交換 c) マウント・リンクの交換 d) ベアリング及びブッシングの交換
	4 APU	APU構成品の交換

付表A.3-UH-60J PAR標準修理範囲(続き)

	部 品 名 称	修 理 等 の 範 囲
ト ラ ン ス ミ ッ シ ヨ ン	1 メイン・トランスミッション	a) モジュール・アセンブリの交換 b) 補機類の交換 c) オイル・フィルタ・エレメントの交換 d) チップ・ディテクタ, ストレーナ及びハイ・テンプレッチャ・スイッチの交換 e) シールの交換 f) マウンティング・レグ(取付脚)部の腐食処理 g) ブリーザ・プラグ・アセンブリ, ベスベル・スプライン・アダプタの交換 h) オイル・プレッシャ・スイッチの交換 i) オイル・レベルゲージの交換
	2 中間ギア・ボックス	a) アセンブリの交換 b) チップ・ディテクタの交換 c) シール及びフレキシブル・カップリングの交換 d) マウンティング・レグ(取付脚)部の腐食処理 e) 油面点検窓の交換
	3 テール・ギア・ボックス	a) アセンブリの交換 b) チップ・ディテクタの交換 c) シール及びフレキシブル・カップリングの交換 d) マウンティング・レグ(取付脚)部の腐食処理 e) 油面点検窓の交換 f) プレートフランジ部の腐食処理 g) アクチュエータ・ブレード・ポジショナーの交換

付表A.3-UH-60J PAR標準修理範囲(続き)

	部 品 名 称	修 理 等 の 範 囲
ト ラ ン ス ミ ッ シ ヨ ン (続 き)	4 ローター・ブレーキ・マスタ ー・シリンダ	a) アセンブリの交換 b) ブリード・バルブの交換 c) プランジャーの交換
	5 ラジエータ	a) アセンブリの交換 b) ガasket及びパッキングの交換 c) サーモスタティック・バルブの交換
	6 オイル・クーラー・ダクト	a) 複合材修理 b) 構造修理 (ファスナ交換を含む。)
	7 テール・ドライブ・シャフト	a) 構成部品の交換 b) 傷のブレンド修理 c) ディスコネクト・ジョー・シール・ハウジングの 交換
	8 ローター・ブレーキ	ライニング, ディスク及びシールの交換
空 気 調 和 系 統	1 ブレード防除氷	a) 構成部品の交換 b) ブレード除氷ブラシの交換
	2 エンジン防除氷	構成部品の交換
電 気 系 統	1 コンバータ	アセンブリの交換
	2 ジェネレータ	アセンブリの交換
	3 リレー, サーキット・ブレー カ及びスイッチ	アセンブリの交換
	4 コーシオン・アドバイザリ・ パネル及びマスター・ウォー ニング・パネル	a) アセンブリの交換 b) 電球の交換

付表A.3-UH-60J PAR標準修理範囲(続き)

	部 品 名 称	修 理 等 の 範 囲
電 気 系 統 (続 き)	5 バッテリ	a) ゴム類の交換 b) セルの交換 c) リセプタクルの交換
	6 外部電源リセプタクル	a) アセンブリの交換 b) ピンの磨き修理 c) リセプタクル・カバーの交換
	7 オーバーヘッド・コンソール センター・コンソール	a) パッチによる修理及びアクリル板の交換 b) 文字の修正
	8 プレシヤ・スイッチ	a) アセンブリの交換 b) 腐食処理
	9 機器用マウント	a) アセンブリの交換 b) ショック・アブソーバの交換 c) 腐食処理
	10 配線関係	a) プラグの交換 b) プラグの腐食処理 c) プラグのポッティング補修及びブッシングの交換 d) クランプ, クリップ及びインシュレータ・チューブの交換 e) ターミナル, ターミナル・ブロック及びカバーの交換 f) グロメット及びニップルの交換 g) ボンディング・ジャンパの交換 h) 電線の清掃 i) 電線のスプライス修理 j) 電線の交換

付表A.3-UH-60J PAR標準修理範囲(続き)

	部 品 名 称	修 理 等 の 範 囲
照 明 系 統	1. 衝突防止灯, 着陸灯 (機首部, キャビン部)	a) アセンブリの交換 b) ランプの交換 c) ガasketの交換 d) 腐食処理
	2 可動式サーチライト	a) アセンブリの交換 b) ランプの交換 c) 腐食処理
	3 位置灯, 編隊灯	a) アセンブリの交換 b) ランプの交換 c) ガラス・カバーの交換 d) 腐食処理 e) ガasketの交換
	4 ドーム・ライト	a) アセンブリの交換 b) ランプの交換 c) ガラス・カバーの交換
	5 パネル・ライト, セカンダリ ライト, グレアシールド・ラ ンプ, ポータブル整備灯	a) アセンブリの交換 b) ランプの交換
	6 レオスタット	a) アセンブリの交換 b) ノブの交換
	7 警報灯, 消火器ライト, レス キュー・ホイスト・ライト	a) アセンブリの交換 b) ランプの交換

付表A.3-UH-60J PAR標準修理範囲(続き)

	部 品 名 称	修 理 等 の 範 囲
作 動 油 圧 系 統	1 トランスファ・モジュール	a) アセンブリの交換 b) 取付部パッキングの交換 c) 外部から交換可能な単一部品の交換
	2 ハイドロ・ポンプ	a) アセンブリの交換 b) バルブ, フィルタの交換
	3 プライマリ・サーボ, パイロ ット・アシスト・サーボ及び テール・ロータ・サーボ	a) アセンブリの交換 b) 外部から交換可能な部品の交換 c) SASアクチュエータ等構成品の交換
	4 油圧系統構成部品	バルブなどの交換
	5 リザーバ・モジュール	a) アセンブリの交換 b) フィルタ・エレメントの交換
燃 料 系 統	1 燃料タンク	セルの交換
	2 燃料タンク内のバルブ等	アセンブリの交換
	3 フィラー・キャップ	a) 小修理及びアセンブリの交換 b) 取付部ガスケット及びパッキングの交換
	4 バルブ類	a) アセンブリの交換 b) 取付部パッキング及びガスケットの交換 c) サンプ・ドレン・バルブ O-RINGの交換
	5 機外補助燃料タンク	a) アセンブリの交換 b) パッキング類の交換

付表A.3-UH-60J PAR標準修理範囲(続き)

	部 品 名 称	修 理 等 の 範 囲
ユ ー テ イ リ テ イ	1 レスキュー・ホイスト系統構 成部品	a) アセンブリの交換 b) ホイスト・サポートの腐食処理
	2 消火器コンテナ及び消火装置	a) 消火器コンテナの交換 b) 放出管の交換
	3 風防ワイパー	a) 構成部品の交換 b) 腐食処理
計 器 系 統	1 計器	a) 計器の交換 b) レンジ・マークの張替え
	2 計器板	a) パッチによる修理及びサポートの交換 b) グレア・シールドの交換 c) 補修塗装
	3 ピトー及び静圧系統	a) ピトー管の交換 b) 腐食処理
	4 スタンバイ・コンパス用マウ ント	a) 修理 b) 交換
	5 時計	電池の交換

付表A.3-UH-60J PAR標準修理範囲(続き)

	部 品 名 称	修 理 等 の 範 囲
自動 操縦 シ ス テ ム	1 AFCSコンピュータ	a) アセンブリの交換 b) カード又はモジュールの交換
	2 AFCSコントロール・パネル	アセンブリの交換
	3 CIU	アセンブリの交換
電 子 系 統	1 アンテナ	アンテナ・アセンブリの交換
	2 取付台	a) アセンブリの交換 b) ショック・アブソーバの交換 c) ボンディング・バー及びジャンパの交換
	3 航法気象レーダー・レドーム	アセンブリの交換
<p>一般条件 この表は、検査又は試験において発見された不具合の標準修理範囲を示す。 なお、部品交換については、MHS-V-46008 附属書Aの“A.7.1.1 修理要領 a) 不具合対策 2)”の記載事項を優先し、監督官の確認を得て行うものとする。</p>		

付表A.4-UH-60J PAR修理を要しない事項

部 品 名 称	内 容
1 全般	
a) スクリュ、ナット、ワッシャ、タズ・ファスナ等（セルフ・ロックング・ナットを除く。）	軽微な傷、スクリュ・ドライバ溝の摩耗及びさび（機能上支障がないこと。）
b) ボルト、ナット（スペシャル・ボルト、ナットを除く。）	着脱に支障のない角部のつぶれ及び軽微なさび（損傷又は脱離のおそれがないこと。）
c) クランプ、クリップ及びインシュレータのクッション・ゴム（ローター系統を除く。）	1) 縁の破れ（当たり面が破れていないこと。）、サイズの違い（機能上支障がないこと。）、締付後のストラップの長すぎ及び軽微な変形（クッション・ゴムの欠損により金属部が締付部品に接触していないこと。） 2) 金属部の軽微な腐食
d) ブーツ、グロメット	劣化、ひび割れ、変形及び局所的な破損（機能上支障がないこと。）
e) デカル、ステンシル、マーキング、カラー・コード、銘板	不良、不鮮明、欠品（レンジ・マーク、スリッページ・マーク等飛行安全及び品質保証（耐用命数、時間管理品）に直接影響するものを除く。）
f) ベアリング	アウター・レース又はインナー・レースの軽微な腐食、傷及びシールの変形（拘束及び機能上支障がないこと。）
g) ゴム・ホース、チューブ（プレッシャ・ホースを除く。）	1) 外部被覆の局所的な損傷（損傷が内部シールドに達していないこと及び編組みの分離、き裂、硬化がないこと。） 2) フィッティング及び“B”ナットのさび、傷（機能上支障がないこと。）
h) ケーブル用フェアリード	軽微な摩耗（構造部材との隙間は最小1/16inのこと。）
i) コンジット	さび及び局所的な凹み（機能上支障がないこと。）
j) 塗装面（ローター系統を除く。）	1) 機体内部、部品などの塗装面の変色（部品の取付後は実施できないものを除く。） 2) 機体外部塗装面のよごれ、軽微な変色及びひび割れ 3) ラッチ、ステップなどの擦れ面の塗装はく離
k) ドレン・チューブ及びドレン・ホース（メインモジュール・ドレン・チューブを除く。）	1) 透明チューブの変色 2) 軽微な不具合（破損及び閉そくのおそれがないこと。）
l) フレキシブル・コンジット	外部被覆の局所的な損傷（損傷が内部シールドに達していないこと及び編組みが分離していないこと。）
m) スタッド、プレート・ナット	軽微な損傷（機能上問題のないこと。）

付表A.4-UH-60J PAR修理を要しない事項(続き)

部 品 名 称	内 容
2 エア・フレーム	
a) 胴体外部 (パイロン、スタビレータ、ドア類を含む。)	1) 外板の軽微なかき傷及び凹み 2) キャン (手で押えて離れた時自然復帰すること。) 3) シール 機体構造とカバー、フェアリングなどの間に使用されているシールの軽微な劣化、圧縮又はひび割れ (ノーズ・ドア、クルー・ドア、キャビン・ドア、乗員用ドア投棄窓、キャビン投棄窓、キャビン・ドア投棄窓及び電子機器室扉は除く。) 4) シーリング 外板の継ぎ目の軽微なシーリング不具合 (塗装除去を実施した箇所を除く。) 5) ステップ、ハンド・グリップ類の変形摩耗 (機能上支障がないこと。)
b) 胴体及び構造部材	1) 部隊で実施した修理の手直し (特に不安全な状態でないこと。) 2) 2次構造部材の軽微な凹み、かき傷
c) 床板及びカバー	1) 塗装及び滑止めの摩耗、剥れ 2) 軽微な傷 3) シール 機体構造とカバー、フェアリングなどの間に使用されているシールの軽微な劣化、圧縮又はひび割れ
d) コックピット・キャノピ	1) 前面風防以外のウインド・パネルのかき傷、くもり、歪み、しみ及び表面の傷 (亀裂がないこと。) 2) コックピット窓フレームのかき傷、変形 (機能上支障がないこと。)
e) 乗員用ドア、キャビン・ドア、各ドアの投棄窓	1) ウインド・パネルのかき傷、くもり、歪み、しみ、表面の傷 (亀裂がないこと。) 及びクレージング 2) 開閉ハンドルの遊び (機能上支障がないこと。)
f) エンジン・サービス・プラットフォーム	1) ラッチ・アセンブリの摩耗 (機能上支障がないこと。) 2) 床面の傷 3) プラット・フォームの凹み及びはく離 4) サポート・ブロックの磨耗
g) アクセス・ドア、フェアリング、パネル等	1) FRPの軽微なひび割れ 2) FRPのフェアリング類のグロメットの緩み (機能上支障がないこと。) 3) ファスナの損傷 (機能上支障がないこと。) 4) ヒンジのがた (機能上支障がないこと。)

付表A.4-UH-60J PAR修理を要しない事項(続き)

部 品 名 称	内 容
h) 吸振装置 i) 左右エンジン区画 j) ウイング・スタブ k) 電子機器室の機器取付棚 l) スライディング・フェアリング m) 作業用プラットホーム	5) APUパネルの点検窓ガラスのかき傷、くもり、歪み、しみ、クレージング及び表面の傷(亀裂がないこと。)ベアリング、ボルトの軽微な擦れ 1) 防火壁のかき傷、キャン(深さ0.15in以下であること。) 2) 床面の傷 1) ファスナの損傷(機能上支障がないこと。) 2) フロート・カバーのシールひび割れ及び劣化(機能上支障がないこと。) 軽微な損傷 1) 水平及び垂直ローラーの摩耗(機能上支障がないこと。) 2) 後方左右ラッチのがた(機能上支障がないこと。) 1) 床面の傷 2) プラットホームの凹み及びはく離
3 胴体コンパートメント a) シート b) ショルダー・ハーネス及び安全ベルト c) 乗員座席 d) バック・ミラー e) 地図入れ及び灰皿	1) シート構造部材の変形、凹み(機能上支障がないこと。), かき傷 2) トラック・レールの汚れ、摩耗、ロック・ピン穴の変形(ハンドル操作でロックすること。) 3) シート・クッションの不具合 汚損、金属部のさび、変形 乗員座席のすべての不具合 バック・ミラーの不具合(不時落下のおそれがないこと。) すべての不具合
4 ランディング・ギア a) タイヤ b) ブレーキ c) スタティック・グラウンド・ワイヤ	1) 片ベリ(トレッドが完全に摩耗していないこと。) 2) サイド・ウォールのひび割れ(コード・ボデーまで進行していないこと。) ディスクのさび(機能上支障がないこと。) 先端スリーブの摩耗(機能上支障がないこと、又は先端スリーブが地面に接地しないものは除く。)
5 フライト・コントロール a) スティック	1) スティック・グリップの軽微な欠け及び文字の不鮮明 2) スイッチ・ガードのがた(操作上支障がないこと。) 3) スライド・チューブの腐食(機能上支障がないこと。) 4) スティック・チューブの腐食(機能上支障がないこと。)

付表A.4-UH-60J PAR修理を要しない事項(続き)

部 品 名 称	内 容
6 ローター・システム a) メイン・ローター・ヘッド	1) 軽微なさび(浸食していないこと。) 2) ボンディング・ジャンパのインシュレータ・チューブの損傷
7 ターボ・シャフト・エンジン及びパワー・プラント・インストレーション a) エンジン・コントロール系統 b) エアー・インターク・ダクト c) オイル・タンク d) 空気取入口	エンジン・コントロール・クォードラントの照明カバーのひび割れ(機能上支障がないこと。) インターク・ダクトのスパイラップの擦れ, 汚れ 1) オイル・タンクの凹み(機能上支障がないこと。) 2) フィラー・キャップの擦れ 1) ファイア・ウォールにつくシールの擦れ(機能上支障がないこと。) 2) ワイヤ・ハーネスのシールド腐食及び素線切れ(機能上支障がないこと。)
8 トランスミッション a) 各ギア・ボックス b) ローター・ブレーキ	1) フランジ・カップリングのさび(シール面を除く。) 2) 油面点検窓の汚れ(油量が確認できること。) 3) 部隊実施の防食コーティング ディスクのさび(機能上支障がないこと。)
9 空気調和系統 a) ECS構成品 b) ECSダクト	1) 構成品のさび(機能上支障がないこと。) 2) キャビン温度センサーのピンの変形(機能上支障がないこと。) 3) ウォータ・セパレータのコアレッサの破れ(機能上支障がないこと。) 4) スリーブの劣化及び軽微な破れ 1) 局所的な凹み, 変形(機能上支障がないこと。) 2) スポンジ・ラバーの劣化及び軽微な破れ 3) エア・バルブの動き(機能上支障がないこと。) 4) ダクト・インシュレーションの軽微な破れ
10 電気系統 a) 電線 b) インシュレータ・チューブ c) プラグ, コネクタ	軽微な汚れ, 塗料の付着など(第1次外被より内部へ浸透していないこと。) 変化及び劣化(機能上支障がないこと, ロータリ・ウイング・ヘッド部のインシュレータ・チューブには硬化, 破れがないこと。) 1) 外側の汚れ, 傷, 腐食(機能上支障がないこと。) 2) 絶縁物の軽微な傷, 汚れなど 3) ブッシングの軽微な劣化(機能上支障がないこと。) 4) カップリング・ナットの安全線取付穴の欠け(1か所以上良好な穴があること。)

付表A.4-UH-60J PAR修理を要しない事項(続き)

部 品 名 称	内 容
d) コントロール・パネル e) スペア・ランプ及びヒューズ f) ジェネレータ g) ターミナル・カバー	1) 文字板等のプラスチック・パネルの欠け(脱落及び機能上支障がないこと。) 2) センター・コンソール・サーキット・ブレーカ・パネルの汚れ 1) 欠品 2) ヒューズ・ホルダーの異品 リード線の軽微な擦れ(機能上支障がないこと。) 劣化
11 照明系統 a) レンズ b) ドーム灯 c) ユーティリティ灯 d) グレア・シールド灯	1) 汚れ(内部, 外部) 2) 軽微な傷 カバー, ガラスの汚れ(内部, 外部) すべての不具合 配線の軽微な擦れ(機能上支障がないこと。)
12 作動油圧系統 a) ポンプ・モジュール・タンク b) バルブ類 c) スイッチ及びバルブ d) フィラー・キャップ	油面点検窓の汚れ(油面が確認できること。) 外傷(機能上支障がないこと。) 軽微なさび(機能上支障がないこと。) 軽微な傷, 腐食
13 ユーティリティ a) サウンド・プルーフ・パネル b) 救急のう c) 風防ウォッシャー d) 風防ワイパー e) FDR f) 消火系統 g) レスキュー・ホイスト	すべての不具合(取付ファスナのゆるみ, 欠品, 損傷は除く。) すべての不具合 軽微な不具合(機能上支障がないこと。) 1) 軽微なさび及びブレードのひび割れ(機能上支障がないこと。) 2) ブレード・ラバーの劣化(機能上支障がないこと。) 3) アーム・スプリングのさび(ワイパーの機能上支障がないこと。) 4) ワイパー・チューブの劣化(ワイパーの機能上支障がないこと。) カプセル・ディスペンサー・グロメットのひび割れ(機能上支障ないこと。) サーマル・ディスクの変色(ディスクの存在が視認不可能なものは除く。) 機能試験時に確認された規定を超える作動油漏れ以外の不具合

付表A.4-UH-60J PAR修理を要しない事項(続き)

部 品 名 称	内 容
14 計器系統 a) 機器 b) 時計	1) 軽微な傷及びさび (機能上支障がないこと。) 2) 外面塗装のはがれ すべての不具合 (電池の交換は除く。)
15 電子系統 a) アンテナ b) ショック・マウント c) 電鍵	軽微な劣化, 損傷 (機能上支障がないこと。) マウントの損傷及びアース・トラップの異品, 軽微な損傷, 腐食 (機能上支障がないこと。) 軽微な損傷 (機能上支障がないこと。)

付表A.5-UH-60J PAR交換部品

No.	部 品 番 号	名 称	個数	備 考
1	70400-08159-M301	スペシャル・ボルト	8	
2	70400-08159-M302	スペシャル・ボルト	2	
3	70400-08159-M303	スペシャル・ボルト	1	
4	70400-08159-M304	スペシャル・ボルト	1	
5	70400-08159-M305	スペシャル・ボルト	1	
6	70400-08159-M306	スペシャル・ボルト	1	
7	70400-08159-M308	スペシャル・ボルト	1	
8	74A34071-103	ベアリング	8	
9	70358-06334-104	スリーブ	1	
10	SS5211-4H10	ボルト	2	
11	SS5211-4H12	ボルト	2	
12	MS35265-26 又は NT352R0632VC4N	フィルター・スクリュ	8	
13	SB1138-M101	ビス・ダンパー・ベアリング	3	
14	NAS6210-48D	ボルト	1	
15	MS17826-10	ナット	1	
16	MS21244-10C	ナット	1	
17	NAS464P8-28	ピン	2	
18	NAS629-26 又は MS21250-09026	ボルト	4	
19	RMLH2577-098	ナット	4	
20	SS5209-10-34	ボルト	8	
21	NAS6705DU14	ボルト	2	
22	NAS6705DU18	ボルト	6	
23	NAS6706DU26	ボルト	6	
24	MS21250-04024	ボルト	16	
25	NAS1305-56	ボルト	2	
26	NAS1306-54D	ボルト	2	
27	NAS1304-56	ボルト	2	
28	SS43S40J196000	ホース	1	
29	SS43P40J134000	ホース	1	
30	SS43P06J320000	ホース	2	
31	SS43P31J277000	ホース	2	
32	SS5086-08	ナット	4	a)

付表A.5-UH-60J PAR交換部品(続き)

No.	部 品 番 号	名 称	個数	備 考
33	AN320-8	ナット	2	
34	AN960KD816	ワッシャ	2	
35	AN960KD816L	ワッシャ	2	
36	MS20002C9	ワッシャ	4	
37	MS20002-9	ワッシャ	4	
38	NAS578-9A	リテーナ	4	
39	MS21250-05026	ボルト	14	b)
40	41211-70804	ナット	14	b)
41	70304-22203-109	シール	1	
42	70800-02506-106	ブッシング	2	
43	70800-02506-107	ブッシング	1	
44	70652-02251-170	チューブ	1	
45	70652-02251-171	チューブ	1	
46	70652-02251-172	チューブ	1	
47	70652-02251-173	チューブ	1	
48	70652-02251-174	チューブ	1	
49	70652-02251-175	チューブ	1	
50	70652-02251-177	チューブ	1	
<p>注 a) めっき表面色が金色のものを使用する。 b) 旧タイプ・ホイール (5003889-K2) のみ交換</p>				

附属書B

(規定)

電子機器関係作業実施要領

目 次

B.1 総則	58
B.2 実施要領	58
B.3 その他	58
付表B.1 PAR試験項目表	59

B.1 総則

この附属書は、UH-60JのPAR作業において実施する電子機器関係作業について規定する。

B.2 実施要領

B.2.1 搬入時機体搭載機器

搬入時機体搭載機器は、次による。

- a) 個別仕様書の電子機器処置表により取付台とともに機体に装備して搬入する機器は良品とする。また、記載のない機器は部隊取卸しとする。
- b) 装備品を装備品目録と対比し、航空機装備品目録表に必要事項を記録する。

B.2.2 電子機器の処置

電子機器の処置は、次による。

- a) 個別仕様書の電子機器処置表に従い機器の取外し、返納、官給、BT、ITF、CE及び取付けなどを行う。
- b) 前a)によって取外した時に品名、型式番号、数量、外観状況等の検査を行う。
- c) 不具合が発見された場合は、監督官の確認を得た後、不具合品を返納し、良品の機器を受領することができる。
なお、返納先については補給本部又は航空補給処の指示による。返納時の梱包は、監督官の指示がない場合は、一般商慣習による。
- d) 電子機器処置表に記載のない取付台等については、原則として機体保管とし、目視点検及び必要に応じて防振作用の点検を行う。

B.2.3 ベンチ・テスト

付表B.1に示す機器は、同表の機器別試験項目表欄に基づきベンチ・テストを行う。

B.2.4 地上作動試験

付表B.1に示す機器は、同表の地上作動試験項目表欄に基づき地上作動試験を行う。

B.3 その他

アンテナなどを取外した状態の場合は、部隊で機体開口部に、ダミー・パネルを装着し、搬入する。

付表B.1-PAR試験項目表

アイテム	型式名	型式番号	機器別試験項目表	地上作動試験項目表
1	VHF無線機	HRC-117	<ul style="list-style-type: none"> a) 受信感度 b) スケルチ・レベルの設定 c) AVC特性 d) 受信出力 e) DF受信出力 f) DF受信出力の遅延角 g) 雑音レベル h) 送信出力の偏差及び割合 i) 送信周波数偏差 j) 側音 k) 変調能力 	<ul style="list-style-type: none"> a) 照明 b) プリセット周波数設定 c) 手動周波数設定 d) ガード周波数設定 e) 出力電力 f) 無線/ICSインターフェース点検 g) 無線点検

付表B.1-PAR試験項目表(続き)

アイテム	型式名	型式番号	機器別試験項目表	地上作動試験項目表
2	UHF無線機	HRC-116	<ul style="list-style-type: none"> a) 受信感度 b) 通過帯域幅 c) AGC特性 d) 音声出力 e) ADF低周波出力 f) ADF低周波出力の位相遅延角 g) 受信S/N比 h) スケルチ感度 i) 送信出力 j) 周波数偏差 k) 送信スプリアス l) サイドトーンレベル m) トーン送信 n) 変調能力 	<ul style="list-style-type: none"> a) 試験前の導通 b) 照明 c) 周波数プリセット d) 自己診断 e) スケルチ f) 出力電力 g) 無線/ICSインターフェース点検 h) 無線点検 i) ガード受信機

付表B.1-PAR試験項目表（続き）

アイテム	型式名	型式番号	機器別試験項目表	地上作動試験項目表
3	HF無線機	HRC-118	a) 送信出力 b) 周波数確度 c) スプリアス d) 側音出力 e) チャンネル切替時間 f) 受信感度 g) AGC特性 h) 低周波出力 i) 忠実度（雑音）	a) 照明 b) チャンネル・プリセット c) 自己診断 d) アンテナ整合 e) 出力電力 f) 無線／ICSインターフェース点検 g) 無線点検

付表B.1-PAR試験項目表(続き)

アイテム	型式名	型式番号	機器別試験項目表	地上作動試験項目表
4	交話機	77AS81505()	<ul style="list-style-type: none"> a) ICS送話ゲイン b) TRANSMIT ゲイン確認及び調整 c) 周波数特性 (マイク・アンプ) d) 歪み率 (マイク・アンプ) e) 受話ゲイン f) 周波数特性 (ヘッドセットアンプ) g) 歪み率 (ヘッドセットアンプ) h) サイドトーン特性 	<ul style="list-style-type: none"> a) 照明 b) ICSインターフォン点検 c) グループ間交話点検 d) ICSモニター[OFF]及び[CALL]機能点検

付表B.1-PAR試験項目表（続き）

アイテム	型式名	型式番号	機器別試験項目表	地上作動試験項目表
5	ドプラー航法装置	D-91(81077DDSH)		a) 自己診断 b) モード点検

付表B.1-PAR試験項目表（続き）

アイテム	型式名	型式番号	機器別試験項目表	地上作動試験項目表
6	タカン航法装置	HRN-110-1	<ul style="list-style-type: none"> a) 送信出力（尖頭出力） b) Lバンド抑圧特性 c) 方位特性 d) 距離特性 e) 局識別音出力（受信感度） f) 空対空機能 g) アンテナ選択 h) 自己診断機能 	<ul style="list-style-type: none"> a) 照明 b) 自己診断 c) 地対空のXモード d) 地対空のYモード e) 空対空のXモード f) 空対空のYモード

付表B.1-PAR試験項目表(続き)

アイテム	型式名	型式番号	機器別試験項目表	地上作動試験項目表
7	UHF自動方位測定機	OA-8697A/ARD	a) 感度 b) 方位精度 c) 指示速度 d) ハンテイング	a) VHF RF点検 b) VHF DF方位 c) VHF DF不能 d) UHF RF点検 e) UHF DF方位 f) UHF DF不能

付表B.1-PAR試験項目表（続き）

アイテム	型式名	型式番号	機器別試験項目表	地上作動試験項目表
8	自動方位測定機	HRN-112()	<ul style="list-style-type: none"> a) ANT感度 b) LOOP感度 c) ADF感度 d) 指示速度 e) 指示誤差 f) 音声出力 g) 自己診断機能 h) プリセット機能 i) 四分円誤差補正 	系統点検

付表B.1-PAR試験項目表 (続き)

アイテム	型式名	型式番号	機器別試験項目表	地上作動試験項目表
9	計器着陸装置	HRN-114	<p>a) VOR/ローカライザー</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 受信感度 2) 低周波出力 3) AGC特性 <p>b) VOR</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 方位誤差及び中心指示特性 2) TO-FROM出力 3) アラーム信号 4) VORテスト <p>c) ローカライザー</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 中心指示特性 2) アラーム信号 <p>d) グライド・スロープ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 受信感度 2) AGC特性 	<ol style="list-style-type: none"> a) 照明 b) 自己診断 c) VOR点検 d) ローカライザ点検 e) グライドスロープ点検 f) マーカー・ビーコン点検

付表B.1-PAR試験項目表(続き)

アイテム	型式名	型式番号	機器別試験項目表	地上作動試験項目表
9	計器着陸装置(続き)	HRN-114	<ul style="list-style-type: none"> 3) 中心指示特性 4) アラーム信号 e) マーカー・ビーコン <ul style="list-style-type: none"> 1) ランプ点灯感度 2) 低周波出力 3) ランプ動作 f) 制御器 <ul style="list-style-type: none"> 1) VOR/ローカライザー低周波出力調整 2) マーカー・ビーコン低周波出力調整 3) パネル・ライト 	

付表B.1-PAR試験項目表(続き)

アイテム	型式名	型式番号	機器別試験項目表	地上作動試験項目表
10	電波高度計	A/APN-194(V)1	<p>a) 送受信機</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 電源電圧 2) 高度指示器リファレンス電圧 3) 送信周波数 4) ブランキング・パルス 5) リライアブル信号 6) 高高度感度 7) 低高度感度 8) 高度精度 9) 高度レート信号精度 10) モジュレータ・パルス 11) セルフ・テスト <p>b) 高度指示器</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) コントロール・ノブ 2) セルフ・テスト・ランプ動作 3) ダイアル・マスク機能 	<ol style="list-style-type: none"> a) 電源点検 b) 照明 c) 自己診断 d) AFCSインターフェース

付表B.1-PAR試験項目表(続き)

アイテム	型式名	型式番号	機器別試験項目表	地上作動試験項目表
10	電波高度計(続き)	A/APN-194(V)1	4) パワー・オフ・フラグ動作 5) スケール精度 6) 低高度スケッチ動作 7) 警報機能	

付表B.1-PAR試験項目表(続き)

アイテム	型式名	型式番号	機器別試験項目表	地上作動試験項目表
11	選択識別装置応答機	AN/APX-100(V)	<ul style="list-style-type: none"> a) モニタ機能 b) 受信特性 c) 送信特性 d) デコーダ特性 <ul style="list-style-type: none"> 1) 応答符号 e) IFFシステム作動 <ul style="list-style-type: none"> 1) トリガ出力 2) チャレンジビデオ出力 3) 応答ライト作動 4) コーション・ライト作動 5) オーディオ出力 f) 制御作動 <ul style="list-style-type: none"> 1) AOC作動 g) アンテナ特性 <ul style="list-style-type: none"> 1) アンテナVSWR 	<ul style="list-style-type: none"> a) 照明 b) 自己診断 c) 質問テスト d) リモートI/Pテスト e) 送信機周波数 f) サイドローブ抑制 g) モードC高度通報

付表B.1-PAR試験項目表(続き)

アイテム	型式名	型式番号	機器別試験項目表	地上作動試験項目表
12	航法気象レーダ	P-700	a) 制御機能 b) 送信出力 c) 送信周波数 d) PRF e) PULSEWIDTH f) GAINコントロール g) MDS h) STC i) REACT j) TURBURENCE k) AZIMUTH l) TILT m) PITCH STAB n) ROLL STAB o) AUTO TILT	a) 照明 b) スタンドバイ・モード c) 強制スタンドバイ・モード d) テスト・モード e) 航法気象レーダー・モード f) 航法気象レーダー・レイン・エコー減衰補償技法モード g) 地上マッピング1モード/地上マッピング2モード h) 傾斜制御 i) ゲイン制御 j) レンジ選択 k) クラッタ減少モード l) 気象検知モード m) 目標アラート機能 n) アンテナ・セクター機能 o) アンテナの安定 p) アンテナ・インターフェース q) EFIS表示制御器インターフェース

付表B.1-PAR試験項目表（続き）

アイテム	型式名	型式番号	機器別試験項目表	地上作動試験項目表
13	赤外線暗視装置	AN/AAQ-15-N	<ul style="list-style-type: none"> a) テストパターン表示 b) スタンバイモード c) 動作モード d) グレースケール e) 表示記号輝度 f) IR利得 g) IRレベル h) 極性 i) 視野角 j) セクタースキャン k) トラックモード l) オフセット追尾 m) フォワードモード n) デフォルトモード o) BIT p) ライティングパネル q) 焦点 	<ul style="list-style-type: none"> a) 照明 b) 系統の作動 c) 自己診断 d) 通常運転 e) セクター・スキャン・モード f) 整備管理

付表B.1-PAR試験項目表(続き)

アイテム	型式名	型式番号	機器別試験項目表	地上作動試験項目表
13	赤外線暗視装置 (続き)	AN/AAQ-15-N	r) FOV s) 視軸ドリフト	

附属書 C

(規定)

経年対策作業実施要領

目 次

C.1	総則	77
C.2	適用号機	77
C.3	実施要領	77

C.1 総則

この附属書は、UH-60Jの老朽化に対応した飛行安全を図るため、所定の時期に達した航空機に対して通常の定期修理に追加して行う経年対策作業について規定する。

C.2 適用号機

適用号機は、個別仕様書による。

C.3 実施要領

改修図面77AK34010により、以下の経年対策作業を行う。

- a) メイン・ギヤ・ボックス周辺トップデッキ外板の亀裂対策
 - 1) 左右舷STA. 343. 615既存ダブラの板厚を変更する。
 - 2) 補強ダブラを左右舷STA. 343. 615に追加する。
 - 3) ハイロック・ファスナ箇所は、オーバーサイズに変更する。
- b) カargo・ドア取付上部トラックの亀裂対策
 - 1) 前方側及び後方側垂直ローラ取付位置の既存トラックを切欠き、新型形状トラックを取付ける。
 - 2) スチール製アングルを補強するため、補強アングルを追加する。
 - 3) 既存トラックと新形状トラックの結合部には、スプライス・アングルで結合する。

附属書 D
(規定)
貸 付 品

目 次

D.1 貸付品	80
---------	-------	----

D.1 貸付品

D.1.1 表D.1 に示す貸付品及び要求元の確認を得た貸付品を契約の相手方工場において無償貸付するものとする。

D.1.2 貸付品は、契約履行のため、監督官の確認を得て、修理、維持を行っても差し支えないものとし、当該作業終了後、使用状態のまま返納するものとする。

なお、修理については、交換部品製造中止等による代替品の置換えを含む。

表D.1-貸付品

番号	部品番号	名 称	数 量	備 考
1	70600-21702-041	エマージェンシー・ロケーター・ トランスミッター	3EA	a)
注 ^{a)} SH-60K PARの貸付品を併用する。				